



2019年
3月号

風の子便り

社会福祉法人のゆり会 たかさご保育園

<http://www.takasago-hoikuen.com>

日足も少しずつのびはじめ、日に日に春めいて参りました。
突然ですがTV番組で「美の巨人」・「日曜美術館」をご覧になっている方はいらっしゃいますか？
私は録画してでも観たい番組なんです。観てしまうと、美術館に行った気になってしまうといオチなんですけど・・・

先日「北川民次」の作品が紹介されました。
アメリカ・メキシコに滞在し、日本に帰国後二科会会員となり、短期間では有りましたが、会長につく程の画家でした。

児童美術教育に力を入れた民次のアトリエには、生涯にわたり飾ってあった絵があり
「どんな有名な方の作品ですか？」と聞かれても「むふふ・・・」とだけであったそうです。
民次亡き後、家族が額縁の中の絵画の裏に、メキシコの絵画教室の生徒であった少年の作品である事が判明。
民次により「我が一生の手本となす」と記されており、教え子からこそ学んでいた民次の姿勢に感激しました。

私達保育者も、子ども達の泣き声や、笑顔、まなざしやしぐさなど、子どもの送ってくれるサインを、より深く知りたいといつも願っています。
「こんな保育がしたい」と、どんなに思っているも、子どもが振り向いてくれなければ、なきに等しいのです。

早いもので、本年度も残りわずかとなりました。
保護者の皆様のご理解とご協力に、職員一同 感謝いたします。

これからも、子ども達の笑顔やまなざしを、私達保育者の「座標軸」とし「心豊かな子ども」の育ちをサポートして参ります。



3月の予定	
1	金 卒園記念写真撮影(5才)
2	土 新入園児面接
3	日
4	月 ちゅっちゅこっこの会0才9:30~★ ◇名札着用
5	火 卒園式合同練習
6	水 卒園遠足(5才) 遠足(2.3才) クッキング(4才)
7	木 ポニー(4、5才江戸川河川敷にて)
8	金 4,5才食事会
9	土
10	日
11	月 ちゅっちゅこっこの会0才9:30~★ ◇名札着用
12	火 0才児健診 健康相談の日14:30~★
13	水 卒園式リハーサル
14	木
15	金 171災害ダイヤル
16	土 卒園式
17	日
18	月 ちゅっちゅこっこの会0才9:30~★ ◇名札着用
19	火 三園交保育
20	水 お別れ会食会(3.4.5才)
21	祝 春分の日
22	金
23	土
24	日
25	月
26	火 PPD
27	水
28	木
29	金 図書館(4、5才)
30	土
31	日



★印の日は、どなたでもご自由に参加いただけます
(予定は変更になる場合があります)

0才 ひよこ2組です こんにちは！

ひよこ2組の子どもたちは、一人遊びからお友だちと関わりながら遊ぶ姿が見られるようになりました。

保育者が歌をうたうとみんなと一緒に屈伸をしたり、体を動かしたりと子どもたちの笑顔が広がります。

今のお気に入りの遊びは、お部屋にある棚から大好きなカバンを探して、おもちゃを入れて腕に掛け、お出かけ気分を味わうことです。

お出かけ？買い物？のつもり子ども達は、歩き出すと保育者やお友だちに「ばいばい」と手を振り、途中で出会うお友だちに「たっち」と言いながら手と手を合わせる姿が微笑ましいです。

そして、保育者から“いつてらっしゃ〜い”と言葉を掛けてもらうとニコニコの子ども達…

遊びや生活の中で子どもの「同じ」や「一緒」が共感できる気持ちに繋がっています。

ばんび組(1才)こどものつぶやき

<魔法のおくすり>

「ここがいたい！」と手を差し出すAちゃんの手を見たBちゃん「ちょっとまってくださいね」とブロックの方へ向かうと…帰ってきたBちゃんの手には小さなブロックがありました。するとそのブロックをAちゃんの手に優しくトントンとあてて手当てしていました。ブロックは痛いのが治る魔法のお薬だったのですね。

<おままごと？お店屋さん？>

Dちゃんと保育者で床にままごとのお皿やコップ、食べ物を並べていました。「ご飯食べたいなあ〜」と保育者が呟いたのを聞き「はい」とDちゃんは、ブロックをレジの器械に見立てお皿や食べ物にピッと当てていきます。これは…お店さんのイメージのようです。「いくらですか？」と保育者が聞くと「850円です」とDちゃん
ままごとの場面から、お買い物の場面に、あっという間に変わっていました。生活や遊びの場面で日々色々なやり取りを観察し、再現して遊びを展開する子ども達の柔らかさに感心です。



平成10年から20年間お話を聞かせてくださった【てるこおばちゃんのお話会】が今年度をもって終了となりました。毎月のお話会では、今日は何のお話かなあ〜と楽しみに…沢山のお話を聞いた子ども達の心の宝物になりました。お別れに子ども達からもお礼の歌をうたったり、お花をプレゼントしました。ありがとうございました。

住吉小学校に行ってきました！

今年も小学校からご招待を受け、ぞう組(5才児)の子ども達は、一年生と交流を持ちました。

学校では、1年生の机と椅子に座り、先生のお話を聞き、算数セットでお勉強したり、自分の名前を書いたり、ランドセルを背負ったり、給食を着たりと小学生気分を味わうことができました。

小学校との色々な交流を通じて、入学への期待を膨らませている子ども達です。

卒園式が開催されます(りす・ひつじ参列)

日時:3月16日(土) 9:30開会
8:45~9:00までの間にいらしてください。



参列者:ぞう組(5才)卒園児と保護者
りす、ひつじ組(3.4才)在園児が代表して参列

お休みの所申訳ありませんが、送迎お願い致します。
お仕事の方は通常通りの保育を実施しております

たかさごの教育(自己肯定感)2才 第10回

うさぎ組(2歳児)の子ども達は、日々の積み重ねの中で、沢山の出来る事が増えました。

子ども達は出来るようになった時に、保育者や友達から「できたね！」等の共感と言葉を受けることで自信になり、そこから更に「やってみよう！」という気持ちに繋がっていききました。

最近では、あずま袋を結べるようになったことで、バンダナをマントにする時に保育者ではなく、お友だち同士で「やってあげるよ」「やってー」と声を掛け合い結んであげている姿をよく見かけます。

「やって」と頼られたり、「ありがとう」と感謝されたりすることで、自分は求められている、出来るんだという思いが自己肯定感に繋がっています。

又、色々な場面で泣いたり、困っているお友だちに「だいじょうぶ？」「どうしたの？」と優しく声をかけてあげている姿も見られるようになりました。

自分の掛けてもらった言葉や様々な気持ちを共感したり、認めてもらった思いを、お友だちにもしてあげようと、寄り添ったり、ねぎらったりする姿に繋がっています。「自分は役に立っている」という思いを感じられるように、保育者は援助しています。